

小笠原の自然と歴史から学ぶ おがちよ教育交流事業を行いました

小笠原村教育委員会との協定に基づき行ったおがちよ教育交流事業に、生徒15名が参加しました。
5泊6日で世界自然遺産の小笠原の貴重な自然や戦争の舞台となった小笠原の歴史、独自の伝統を築いた文化などを学びました。

問合せ 子ども総務課おがちよ教育交流事業担当 ☎03-5211-4274

事前学習会 小笠原村のことを事前に学び、知識・知見を深めるための学習会を行いました。



● **第1回事前学習会** 6月5日
小笠原諸島と小笠原村の理解を深める
小笠原村観光局の事務局長を講師に小笠原のことを学びました



● **第2回事前学習会** 6月29日
小笠原の海を知る
すみだ水族館を訪れて、小笠原の海の生き物(固有種)のことを学びました。



● **第3回事前学習会** 7月19日
平和学習、自然・環境学習、歴史・文化・生活学習の3班に分かれて、各班のテーマに沿った内容を学びました。

小笠原へ派遣 7月23日～28日 竹芝客船ターミナルに集合して船に乗り込み、約24時間かけて父島の二見港へ。事前学習を踏まえ、さまざまな体験を通じて学びを深めました(当日の様子は左ページ)。

事後学習会 7月31日、8月21日

小笠原での体験を踏まえ、自分たちが学んできたことを振り返り、報告書を作成しました。



成果を発表! 9月10日

事後学習会で作成した報告書に基づき、成果を教育委員会で発表しました。小笠原諸島の魅力を多角的に捉え、丁寧にまとめられた発表資料を基に、自然と人が共生する小笠原村の魅力がよく伝わるすばらしいプレゼンテーションを行ってくれました！クイズを交えて惹きつけられるような発表を行う班もあり、それぞれの班でさまざまな工夫が見られました。区長や区内中学校の校長も出席し、派遣生徒の報告を見守っていました。



参加者の声

福田佳乃子さん



この事業の魅力は主に「星空・戦跡・きれいな海・おがさわら丸での24時間」であると思います。内地との違いをたくさん発見でき、仲間にも出会って自分自身の考え方が大きく変わるきっかけになりました。

高澤るりのさん



小笠原には温かい人々が多く、豊かな自然・豊かな心を養ってくれる場所で、家族のような感じがしました。島で過ごしているうちに自分が大きく成長できたと強く実感しました。

派遣生徒たちは事前学習会から事業に対する熱気に満ちあふれており、すばらしい生徒が集まってくれたことを心からうれしく思います。現地では小笠原村についてよく学び、村の人たちと温かい交流ができたのではないかと思います。第1回目である皆さんの訪問は、とてもすばらしく、成果のある訪問であったと実感しております。



堀米教育長(千代田区)

派遣生徒の皆さんはどのイベントに対しても意欲を持って取り組んでいて、非常に行動力のある様子を拝見しました。報告会では、小笠原村について明るくハキハキと、まるで小笠原の天気のような声と笑顔で発表していただきました。今後はぜひ小笠原アンバサダーとして活躍してほしいと思います。



桐川前教育長(小笠原村)

小笠原の体験と学びは宝物!!

5泊6日の小笠原派遣中、豊かな自然をたっぷり体験して環境のことを考え、戦争の舞台となった場所であることを実感し、生活の知恵などを学びました。一人ひとりがさまざまな発見をし、多くの気づきを得ることができる貴重な機会となりました。



1日目



竹芝桟橋に集合して乗船。ワクワクした気持ちを共有



船内で迎えた朝。大海原とまぶしい朝日に期待感が高まる

2日目



小笠原村教育委員会主催の歓迎セレモニー



世界遺産センターなどを見学し、島内散策中に海の中へ

夜はナイトツアーに参加して満天の星空の下、小笠原諸島に生息する日本固有種のオガサワラオオコウモリ、八丈島や小笠原諸島に自生するきのこなどを観察しました。

3日目



無人島の南島へ上陸！ポニンプールの海に目を奪われました。また、ボートで移動して兄島海域公園でシュノーケリングを行いました。途中でイルカに遭遇し、ドルフィンスイムも体験できました！

ドルフィンスイム!



4日目



戦争遺跡は心に迫る迫力!

平和学習班

自然観察と別名コペペ砲台と呼ばれる平射砲台跡や夜明山陣地戦跡群、初寝浦展望台に残る旧日本軍の通信所跡の見学



どんな動植物に会えるかな!

自然・環境学習班

自然観察と小笠原の固有亜種を守るアカガシラカラスバトサンクチュアリの見学

独自の文化に興味津々!



歴史・文化・生活学習班

自然観察と小笠原の村の木のタコノキの葉で作るタコノハ細工を体験

夕方は、地元の中学生たちと協力してビーチクリーンをしました。漂着物が多いことにびっくりしました。

5日目



ウミガメはまばたきするのかな!

小笠原海洋センターでウミガメの生態や歴史と現状を学習

町田小奈さん



体調や体力に合わせて、無理なく活動ができました。事前学習で訪れたすみだ水族館でさまざまなミッションをこなし、小笠原の生き物について学んでいたので、普通に行くよりも楽しめたし、充実していたと思います。

村上寛祥さん



人と関わる機会が多い6日間でした。他校や学年の違う生徒、地元の人々のいろいろな話を聞くことができ、とても勉強になりました。大人と話す機会も多くあり、今後の役に立つ貴重な体験でした。

柳葉大志さん



絶滅危惧種などの植物や動物を間近で見ることができ、島の方に直接お話を聞けるなど、言葉にできないほどの魅力が多かったです。都会では感じられない新しい発見が多くあり、とても良い体験ができました。

大場創太さん



海で泳ぐなど、地元の方と同じように行うことで小笠原になじむ感覚がつかめました。地元の方と話して交流できることが、おがちよ教育交流事業のとても良い魅力なのではないのかと強く思います。

坂田結葉さん



3つの班に分かれ、自分と同じことに興味を持つ人と関わることができました。現地では、気になること、疑問に思っていることなどをガイドさんに質問をし、観察・体験などで知識を深めることができました。

堤青葉さん



千代田区に住む私たちも、小笠原の環境に大きくなっていることを教えていただきました。また、小笠原村での経験を通じて、自主的に考え行動できるようになり、自分を成長させることができました。

岩崎涼馬さん



小笠原の人たちの生活に触れていくうちに、新しい魅力に気づくことができました。また、小笠原の大自然は、私たちの想像をはるかに超え、言葉に表せないほどの感動を与えてくれました。

伊東圭一郎さん



小笠原の人とはとても明るくフレンドリーで、ポニンプールの青い海、天然記念物や固有の動植物など、ふだん見られないような景色があり、思い出すと帰りたいくなるような場所でした。